

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-247-6781

年度	平成29年度		
施設名	新潟市若者支援センター	所管部・課	教育委員会地域教育推進課
施設の設置目的	若者に交流及び研修の場を提供し、並びにすべての若者の健やかな成長を支援することにより、若者の社会的自立・職業的自立を動機付け、及び社会参加・社会参画の推進に資する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H29.5.30
歳入		正職員	2	修正日	
歳出	6,381	非常勤	9	評価日	H30.6.27

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	困難を有する若者やその保護者、関係者の相談を受け、適切な機関に繋がります。	相談受付数(件数)	486	502	792	652	762	過去3年間の平均値の10%増を設定した。		目的を達成した。	A:達成(優)
2	市民	若者が困難さを克服し、自信を回復するための支援講座を開設します。	若者自立支援事業等延参加者数(人)	1,480	1,068	1,114	1,225	1,052	事業内容拡充を見越して、前年より10%増を設定した。	朝活、若者語り場「じょぶとーく」ユースクッキング、自信を育てる講座、地域団体連携事業	若者の登録団体数が減少していることなどから、目標とする数値には達しなかった。	C:未達成
3	市民	若者支援センターの認知度を高め、利用者の促進を図ります。	HPアクセス数(件)	5,547	4,883	4,581	6,623	6,185	PC利用の他スマートフォンの普及が進歩してきたことからスマートフォンの件数を含んだ目標件数を設定した。		中学3年生向けチラシを作成し発行したが、目標件数には届かなかった。PC利用が主な減少となった。	C:未達成
4	市民	多様化する相談内容や居場所に居る様々な若者に対応するため研修を行います。	研修会延参加者数(人)	112	153	102	134	111	過去3年間の平均値の10%増を設定した。		全体研修や意見交換会・ミニ研修会を実施。目標には到らなかったが、前年度実績を上回り、概ね目的を達成できた。	C:未達成
5												
6												
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> 相談者との面談から、課題を整理し、支援目標・支援内容など支援策を設定して、課題解決に適切な機関につなぐ、居場所で継続的に支援したりします。居場所利用者においても、個人情報に留意して、利用者の状況を見ながら面談を継続し、利用者が安心して使える居場所運営をおこないます。 支援事業では、若者自身の自己肯定感を高め、社会的自立、職業的自立に向けたプログラムを実施します。 広報については、若者自立応援ネット事業で、教職員向け案内を配付し、困った時は当センターに相談する環境づくりに努めます。 研修については、全体研修に加えて、小グループで意見交換会を年4回開き、ユースアドバイザーそれぞれの課題を話し、これに対する解決策を協議することを通してユースアドバイザーの資質向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談者との面談については、一人ひとりに応じた支援策等を設定して、関係する機関・団体へ課題解決のため適切につなぎ、並びに居場所で継続的に支援を行いました。 居場所の利用者に対しては、個人情報に留意するとともに、利用者が安心して使える居場所の運営を行いました。 支援事業では、新たな事業を取り組むことができたことなど、若者自身が社会的自立、職業的自立に向けたプログラムを実施しました。 広報については、若者自立応援ネット事業で、一部の高校における教職員向け研修会を実施した。また、中学生向けにチラシの配布を行い、当センター等に相談する環境づくりを行いました。 研修については、全体研修の他、新規ユースアドバイザーとスタッフとの意見交換会を開催し、ユースアドバイザーが有する課題を話し合うと共に、解決策を協議した。並びに、ミニ研修会では、支援についてや関連機関等について研修を行い資質の向上を図りました。今後も困難な問題等を有する若者一人ひとりに応じた各種取り組みを継続的に支援してまいります。